

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	市観光協会関係費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 不明 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	観光客に対する利便を図るため、観光行政の一翼を担う(公社)藤沢市観光協会に対し、観光案内業務を委託する。また内容の一層の充実を図るため人件費補助を行う。				
対象	4. その他	観光客(海水浴客数を除く)			約 16,820 千人
根拠法令等	その他(要綱等) 公益社団法人藤沢市観光協会補助金交付要綱				
事業実施内容	観光客に対する案内サービスを提供するため、片瀬江の島観光案内所、観光センター、観光シティプロモーション課(平成29年12月末迄)、湘南藤沢コンシェルジュの4カ所で案内業務を行う。また、公益社団法人藤沢市観光協会の事業運営を行う観光センター本部職員に対する人件費の補助を行う。				
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 公益社団法人藤沢市観光協会) (委託等内容: 観光案内業務委託) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金: 公益社団法人藤沢市観光協会補助金) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 106,141 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
		委託料	35,069 千円	観光案内業務委託											
		補助金	71,072 千円	公益社団法人藤沢市観光協会人件費補助											
財源内訳	H30年度 支出済額 106,141 千円	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.50
			平成30年度												
		正規職員等	0.50												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.50												
		費目	支出済額(千円)												
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他( )															
一般財源	106,141 千円														

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	105,293	111,441	110,686	110,906
	(1)現金を伴う支出 (千円)	104,442	110,606	110,812	110,960
	事業費(支出済額-②報酬合計)	102,055	105,783	105,978	106,141
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	2,387	4,823	4,834	4,819
	職員数(常勤 非常勤)	0.25   0.00	0.50   0.00	0.50   0.00	0.50   0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	2,260	4,551	4,610	4,584
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	127	272	224	235
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	851	835	-126	-54
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	851	835	-126	-54
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	250.33   420,619	262.15   425,105	258.91   427,501	258.33   429,317	

成果実績	指標名	観光客数(海水浴客を除く)	目標	12,794	単位 千人	12,922	単位 千人	13,051	単位 千人	13,181	単位 千人
			実績	16,113	単位 千人	16,232	単位 千人	14,941	単位 千人	16,820	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			6,534.66	6,865.51	7,408.21	6,593.70					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	公益社団法人藤沢市観光協会との適切な役割分担について検討する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	公益社団法人藤沢市観光協会の機能維持を図るとともに, 同協会と緊密に連携し, 適切な役割分担について検討する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	公益社団法人藤沢市観光協会の機能維持と自主運営の確立が行われ, 観光客の利便性が高まった。	
今後の方針	事業の方向性	<b>現状維持</b>
	観光行政の一翼を担う公益社団法人藤沢市観光協会に対し, 観光客に対する利便を図るため, 今後も継続して観光案内業務の委託や人件費補助を行う。また, 東京2020大会を見据えたインバウンド事業等について, 費用対効果の検証を行い, 適切な事業形態の在り方を検討する。加えて, 観光協会の人材育成の面においても, 行政として適切な対応を行う。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
47	観光協会人件費補助に関すること	無	無	3	1
50	観光協会案内業務委託に関すること	無	無	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	観光総務関係事務費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	01	細目	003	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 不明 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	観光行政の推進及び円滑化を図るための事務費、及び広域的な観光事業を展開・推進する各種観光団体へ負担金を支出し、各事業に参画する。						
対象	4. その他	観光客(海水浴客数を除く)			約	16,820	千人
根拠法令等	その他(要綱等)						
事業実施内容	公益社団法人神奈川県観光協会等が実施する広域観光宣伝事業等へ参画し、有効な観光宣伝の展開を図り、また最新の観光情報を収集するため、同協会等に加えし、それに伴う負担金を支出。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 負担金 : 神奈川県観光振興対策協議会ほか7団体 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 1,464 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		旅費	170 千円	普通旅費
		需用費	41 千円	消耗品費
		負担金	1,253 千円	神奈川県観光振興対策協議会, 富士箱根伊豆国際観光テーマ地区協議会, 湘南地区観光振興協議会, 鎌倉藤沢観光協議会, その他
財源内訳	H30年度 支出済額 1,464 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他( )				
一般財源	1,464 千円			

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	4,751	7,192	6,473	6,229			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	3,900	6,357	6,599	6,283			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	1,513	1,534	1,765	1,464			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,387	4,823	4,834	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.25 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	2,260	4,551	4,610	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	127	272	224	235			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	851	835	-126	-54			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	851	835	-126	-54			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	11.30	420,619	16.92	425,105	15.14	427,501	14.51	429,317

成果実績	指標名	観光客数(海水浴客数を除く)	目標	12,794	単位	12,922	単位	13,051	単位	13,181	単位
					千人		千人		千人		千人
	実績	16,113	単位	16,232	単位	14,941	単位	16,820	単位		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		294.86	443.08	433.24	370.33					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1)	平成30年度末時点の課題	本事業は, 広域的な観光事業を展開・推進する各種観光団体への負担金の拠出が主である。本市の財政状況と負担金の対象となる各種観光団体への加入に対する効果検証を行う必要がある。
(2)	(1)解決のための今後の取組	負担金対象の観光団体での活動実績等を踏まえ, 適宜効果検証を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	観光行政の推進及び円滑化を図るための事務費及び広域的な観光事業を展開・推進する各種観光団体等への負担金を支出し, 各事業に参画することにより, 県内外の観光情報を収集し, 広域的な観光事業の推進が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	観光行政の推進及び円滑化を図るため, 現状では継続して広域的な観光事業を展開・推進する各種観光団体等へ負担金を支出し, 各事業に参画することにより, 県内外の観光情報を収集し, 広域的な観光事業の推進が図る必要があると考える。これと併せて, 各種観光団体での活動実績等を踏まえ, 適宜効果検証を行う。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
12	富士箱根伊豆国際観光テーマ地区協議会に関する事	無	無	3	1
13	神奈川県観光協会に関する事	無	無	3	1
14	神奈川県観光振興対策協議会に関する事	無	無	3	1
15	湘南地区観光振興協議会に関する事	無	無	3	1
16	湘南地区観光振興協議会事業予算の支出・収入に関する事	無	無	3	3
17	鎌倉・藤沢観光協議会に関する事	無	無	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	江の島マイアミビーチショー負担金										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	02	細目	001	説明	02	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 不明 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	各種海浜イベントを開催する江の島マイアミビーチショー事業を実施する。本市における観光資源を活用し誘客宣伝活動を行うことにより、多くの観光客の集客に努め、地域経済の活性化を図る。						
対象	4. その他	海水浴客	約 1,571 千人				
根拠法令等							
事業実施内容	海開き事業、小田急成城学園前駅やJR横浜駅・JR浦和駅・JR上尾駅での街頭宣伝事業、朝フラや西浜ビーチイベントをはじめとした各種イベントを実施。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 負担金 : 公益社団法人藤沢市観光協会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	5,143 千円	負担金	5,143 千円	江の島マイアミビーチショー負担金
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額 (千円)	
	5,143 千円	分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
	その他 ( )			
	一般財源		5,143 千円	

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.75
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.75

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	14,856	13,800	14,559	11,509			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	12,303	12,982	14,810	12,370			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	5,143	3,337	5,143	5,143			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,160	9,645	9,667	7,227			
	職員数(常勤 非常勤)	0.75 0.00	1.00 0.00	1.00 0.00	0.75 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	6,780	9,101	9,219	6,875			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	380	544	448	352			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	2,553	818	-251	-861			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,553	818	-251	-861			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	35.32	420,619	32.46	425,105	34.06	427,501	26.81	429,317

成果実績	指標名	年間海水浴客	目標	-	単位	-	単位	-	単位	-
				千人		千人		千人		千人
実績			実績	2,222	単位	2,416	単位	1,539	単位	1,571
				千人		千人		千人		千人
数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由			海水浴場の性質上、賑わいの創出は天候に左右される面が大きい為、目標設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			6,685.87		5,711.92		9,460.04		7,325.91	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	海水浴場の賑わいの創出に繋がる効果的なイベント内容の検討
(2) (1)解決のための今後の取組	海水浴場開設者である海水浴場組合や交通事業者, 観光事業者等と連携しながら, 本事業の実施による効果検証を行い, 海水浴客を誘客できるイベント内容の精査を行う。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	昨年よりも天候に恵まれ海水浴客数が微増し, 各種イベントを実施することにより, 海水浴場へ多くの誘客を図り, 夏の地域経済の活性化に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	<b>現状維持</b>
	全国屈指の海水浴場を有する本市として, 今後も引き続き本事業を行うことにより, 海水浴場の賑わいを創出する。これと併せ, 各種観光団体での活動実績等を踏まえ, 適宜効果検証を行い, 海水浴客を誘客できるイベント内容の精査を行う。加えて, 江の島マイアミビーチショー事業という事業名称による波及効果の程度を計るとともに, 大半が花火大会開催費用であることを考慮し, 開催手法の検討や他事業との統合の可能性についても模索する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
19	江の島マイアミビーチショーに関すること	無	無	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	湘南江の島フェスティバル事業費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	02	細目	001	説明	03	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 不明 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	通年型観光地づくりを目指し、新たな観光資源の発掘、既存の観光資源の有効活用について、地元観光事業者等と連携し、一体となった事業展開を行う。						
対象	4. その他	観光客(海水浴客を除く)			約	16,820	千人
根拠法令等							
事業実施内容	江の島大道芸フェスティバルを6/2・6/3に実施。龍の口竹灯籠を8/4・8/5に実施。ふじさわ江の島花火大会を10/20に実施。湘南の宝石事業を11/23～2/17まで実施。湘南江の島春まつりを3/9・3/10に実施。						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 負担金 : 公益社団法人藤沢市観光協会, 湘南の宝石実行委員会 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	12,388	負担金	12,388 千円	江の島大道芸フェスティバル, 龍の口竹灯籠, ふじさわ江の島花火大会, 湘南の宝石(ライトアップ), 湘南江の島春まつり
	千円			
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳		
	支出済額	費目	支出済額(千円)	
	12,388	分担金・負担金		
	千円	使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
	一般財源	12,388 千円		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	1.25
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	1.25

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	25,815	25,731	21,413	24,298
	(1)現金を伴う支出 (千円)	22,411	24,921	21,727	24,433
	事業費(支出済額-②報酬合計)	12,864	12,864	9,643	12,388
	償還金利子	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	9,547	12,057	12,084	12,045
	職員数(常勤 非常勤)	1.00 0.00	1.25 0.00	1.25 0.00	1.25 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	9,040	11,376	11,524	11,459
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	507	681	560	586
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	3,404	810	-314	-135
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	3,404	810	-314	-135
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	61.37 420,619	60.53 425,105	50.09 427,501	56.60 429,317	

成果実績	指標名 イベント来場者数 (江の島大道芸フェスティバル, 龍の口竹灯籠, ふじさわ江の島花 火大会, 湘南の宝石, 湘南江の島 春まつり)	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
		実績	257,415	単位	276,289	単位	195,059	単位	324,235	単位
		数値で表せない効果又は上記指標名の 設定ができない理由	特定期間に屋外で実施されるイベントで、賑わいの創出は天候に左右される面が大きいため、目標設定ができない。							
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			100.29		93.13		109.78		74.94	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	通年型観光地として定着した半面, 新規来場者はもとより, リピーターの獲得につながるよう, 来場者を飽きさせない事業手法の工夫を行う。
(2) (1)解決のための今後の取組	通年型観光地づくりを目指した新たな観光資源の発掘, 既存の観光資源の有効活用について, 地元観光事業者と連携し, SNSに映えるようなスポットを創作するなど, これまでの事業を継続するとともに, 新たな魅力を創出する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	通年型観光地づくりを目指した新たな観光資源の発掘, 既存の観光資源の有効活用について, 地元観光事業者と連携し一体となった事業展開を行った。本事業により秋から春にかけて季節に応じた事業展開を図り, 多くの観光客を集め, 地域経済の活性化及び観光振興に寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	藤沢市観光振興計画に掲げる「通年型観光地」の実現のため, 今後も継続して事業を実施する。また, ふじさわ江の島花火大会などのクラウドファンディングの導入の可能性など新たな財源確保の可能性について研究する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
20	花火大会に関すること	無	無	3	1
21	江の島大道芸コンテストに関すること	無	無	3	1
22	龍の口竹灯籠に関すること	無	無	3	1
23	湘南江の島春まつりに関すること	無	無	3	1
42	江NO・FESに関すること	無	無	3	3
43	湘南の宝石に関すること	無	無	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	海水浴場対策費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	03	細目	001	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 34 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	海水浴場の安全性及び快適性を守るため、各海水浴場組合に対して救護警備費の一部を助成する。また藤沢市夏期海岸対策協議会に対して危険防止施設設置費等の一部を助成する。				
対象	1. 個人	海水浴客			約 1,571 千人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市海水浴場対策事業補助金交付要綱				
事業実施内容	各海水浴場組合に対して救護警備費の一部助成と藤沢市夏期海岸対策協議会に対して危険防止施設設置費等の一部を助成。				
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( : ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( 補助金 : 藤沢市夏期海岸対策協議会, 東浜・西浜・辻堂海水浴場組合 ) <input type="checkbox"/> その他 ( )				

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度	事業費節別内訳													
	支出済額	費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
	29,295 千円	負担金補助及び交付金	29,295 千円	海水浴場救護警備補助金 藤沢市夏期海岸対策協議会補助金											
財源内訳	H30年度	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.50</td> </tr> </table> ※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外) ＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.50	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.50
		平成30年度													
	正規職員等	0.50													
	再任用短時・任期付短時職員	0.00													
	非常勤職員	0.00													
	合計	0.50													
支出済額	費目	支出済額(千円)													
29,295 千円	分担金・負担金														
	使用料・手数料														
	国庫支出金														
	県支出金	871 千円													
	その他( )														
	一般財源	28,424 千円													

## 4. コスト分析

コスト支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	35,567	33,251	34,003	34,060			
	(1)現金を伴う支出(千円)	33,014	34,118	34,129	34,114			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	25,854	29,295	29,295	29,295			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	7,160	4,823	4,834	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.75 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	6,780	4,551	4,610	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	380	272	224	235			
	(2)現金を伴わない支出(千円)	2,553	-867	-126	-54			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	2,553	-867	-126	-54			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	84.56	420,619	78.22	425,105	79.54	427,501	79.34	429,317

成果実績	指標名	海水浴客数	目標	—	単位	—	単位	—	単位	—	単位
				千人		千人		千人		千人	
			実績	2,222	単位	2,416	単位	1,539	単位	1,571	単位
				千人		千人		千人		千人	
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由		海水浴場の性質上、賑わいの創出は天候に左右される面が大きいため、目標の設定ができない。								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		16,006.75	13,762.83	22,094.22	21,680.46					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	海水浴場の賑わいの創出と安全性の確保についての調和を取ることが必要。
(2) (1)解決のための今後の取組	開設者である海水浴場組合等と連携し, 海水浴場の賑わいの創出と安全性の確保に努める。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	海水浴場の安全性及び快適性を守るため, 各海水浴場組合へ救護警備費の一部を助成し, また藤沢市夏期海岸対策協議会へ危険防止施設設置費等の一部を助成した。これにより, 開設期間中, 安全で快適な海水浴場維持し, 海水浴客の利便性が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	<b>現状維持</b>
	全国屈指の海水浴場を有する本市として, 今後も引き続き海水浴場組合等と連携して本事業を行うことにより, 安全で快適な海水浴場を維持し, 海水浴客の利便性を図る。また今後, 各海水浴場組合と協議し, 補助金の適正化について検討する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
54	夏期海岸対策協議会に関すること	無	有	3	
55	夏期海岸対策協議会事業予算の支出・収入に関すること	無	有	3	3
56	海水浴場救護警備補助金に関すること	無	有	3	3
57	海岸たばこ対策に関すること	無	有	3	
58	養浜に関すること	無	有	3	

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	観光施設管理費										担当	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	001	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	昭和 不明 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	観光客の利便性,市民サービスの向上を図るため,江の島周辺及び島内の施設(観光センター,観光案内所,江の島噴水池,観光案内サイン,中津宮広場,亀ヶ岡広場,龍野ヶ岡自然の森,稚児ヶ淵レストハウス等)の良好な維持管理に努める。				
対象	4. その他 観光客(海水浴客を除く)			約	16,820 千人
根拠法令等					
事業実施内容	観光客の利便性,市民サービスの向上を図るため,江の島周辺及び島内の施設(観光センター,観光案内所,江の島噴水池,観光案内サイン,中津宮広場,亀ヶ岡広場,龍野ヶ岡自然の森,稚児ヶ淵レストハウス等)の保守,点検,清掃,警備等を実施。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 公益社団法人藤沢市観光協会, 株式会社ビルメンテナンス湘南リコーほか)				
	(委託等内容: 藤沢市観光センター総合管理業務委託, 観光施設清掃業務委託ほか)				
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( )				
<input type="checkbox"/> その他 ( )					

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 22,687 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		報償費	182 千円	茶毒蛾消毒謝礼
		需用費	4,316 千円	施設修繕費, 観光施設光熱水費電気代, 観光施設光熱水費上下水道代
		役務費	1,616 千円	通信運搬費電信電話料, 手数料, 傷害保険料・損害保険料
		委託料 その他	16,251 千円 322 千円	施設総合管理委託, 清掃委託, 警備委託, その他委託 使用料及び賃借料, 備品購入費
財源内訳	H30年度 支出済額 22,687 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	22,114 千円	
		国庫支出金		
		その他(光熱水費実費収入)	573 千円	
一般財源				

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.75
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.75

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	行政費用 A	32,728	33,125	33,826	34,255
	(1)現金を伴う支出 (千円)	25,279	28,728	29,592	29,914
	事業費(支出済額-②報酬合計)	18,119	21,494	22,342	22,687
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	7,160	7,234	7,250	7,227
	職員数(常勤 非常勤)	0.75 0.00	0.75 0.00	0.75 0.00	0.75 0.00
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)	6,780	6,826	6,914	6,875
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	380	408	336	352
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	7,449	4,397	4,234	4,341
	①減価償却費	4,896	4,422	4,422	4,422
	②退職給与引当金繰入額	2,553	-25	-188	-81
	③不納欠損額	0	0	0	0
④その他( )	0	0	0	0	
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	77.81 420,619	77.92 425,105	79.12 427,501	79.79 429,317	

成果実績	指標名	観光客数(海水浴客を除く)	目標	12,794	単位	12,922	単位	13,051	単位	13,181	単位
					千人		千人		千人		千人
	実績	16,113	単位	16,232	単位	14,941	単位	16,820	単位		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		2,031.15	2,040.72	2,263.97	2,036.56					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	施設が老朽化する一方, 適切な維持管理が求められることから, 費用対効果の高い事業実施が求められる。
(2) (1)解決のための今後の取組	選ばれる観光地として, 観光客の満足度の向上と事業費の抑制の両面について検討する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	観光案内所などの施設の良い維持管理に努め, 観光客の利便性, 市民サービスの向上が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	観光案内所などの施設の良い維持管理は, 本市を訪れる観光客へのおもてなしの基本であるため, 今後も継続して事業を実施し, 観光客の利便性, 市民サービスの向上を図る。ただし, 観光客の満足度の向上と事業費の抑制の両面についても検討する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
64	観光施設の維持管理(観光センター, 案内所, レストハウス, 噴水池)に関すること	有	有	3	1
65	駐輪場の維持管理に関すること	有	有	3	3
66	龍野ヶ岡自然の森の維持管理に関すること	有	有	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	江の島岩屋運営事業費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	002	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 5 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	文化的、歴史的な観光施設である江の島岩屋の維持管理を実施する。				
対象	4. その他	観光客 (江の島岩屋入洞者)	約	362	千人
根拠法令等	条例 (市)	藤沢市江の島岩屋条例			
事業実施内容	江の島岩屋施設の維持管理運営について、指定管理者である (公社) 藤沢市観光協会とともに、安全管理のため保守点検を実施。				
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : 公益社団法人藤沢市観光協会, 日本ミクニヤ株式会社)				
	(委託等内容 : 江の島岩屋維持管理, 保守点検業務委託)				
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : )				
<input type="checkbox"/> その他 ( )					

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 71,121 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	3,908 千円	施設修繕費
		役員費	473 千円	手数料, 傷害保険料・損害保険料
		委託料	66,690 千円	指定管理料, 保守点検委託料
		使用料及び賃借料	50 千円	県土木目的外使用料
財源内訳	H30年度 支出済額 71,121 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	71,121 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源		

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.75
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.75

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	70,567	72,758	69,934	79,065			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	68,847	71,914	70,884	78,348			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	64,073	64,680	66,050	71,121			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,774	7,234	4,834	7,227			
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.75 0.00	0.50 0.00	0.75 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	4,520	6,826	4,610	6,875			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	254	408	224	352			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,720	844	-950	717			
	①減価償却費	18	18	18	18			
	②退職給与引当金繰入額	1,702	826	-968	699			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	167.77	420,619	171.15	425,105	163.59	427,501	184.16	429,317

成果実績	指標名	観光客数(江の島岩屋 入洞者数)	目標	229	単位 千人	234	単位 千人	238	単位 千人	242	単位 千人
			実績	398	単位 千人	419	単位 千人	267	単位 千人	362	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)			177,304.02	173,646.78	261,925.09	218,411.60					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	施設が老朽化する一方, 適切な維持管理が求められることから, 費用対効果の高い事業実施が求められる。
(2) (1)解決のための今後の取組	市を代表する観光施設として, 観光客の満足度の向上と事業費の抑制の両面について検討する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	本市の観光資源を適切に維持管理することにより, 観光振興が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	<b>現状維持</b>
	市の代表的な観光施設を適切に維持管理するとともに, 指定管理者と緊密に連携し, 観光客の満足度向上に繋がる取組を行う。また, 平成29年10月の台風高潮被害により岩屋施設が大規模な損壊を受け, その復旧には多額の費用を要し, 約半年間の営業停止を余儀なくされ大幅な収益減となったことから, 今後安定的に施設を維持・管理をしていくため, 使用料の在り方について整理検討する必要がある。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
68	江の島岩屋の維持管理に関すること	有	有	3	1
71	江の島岩屋の運営(指定管理)に関すること	有	有	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	江の島サムエル・コッキング苑管理費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	003	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	文化的、歴史的な観光施設である江の島サムエル・コッキング苑の維持管理を実施する。						
対象	4. その他	入苑者	約	878	千人		
根拠法令等	条例(市) 藤沢市江の島サムエル・コッキング苑条例						
事業実施内容	文化的、健康的な観光施設である「江の島サムエル・コッキング苑」の管理運営を行い、観光事業の振興を図る。 入場者数の増加を維持するには、新規の来訪者だけではなく、リピーターの確保が重要であり、そのために適正な管理運営に努めるとともに、1年を通じて様々なイベントを実施する。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者: 江ノ島電鉄株式会社) (委託等内容: 江の島サムエル・コッキング苑管理運営業務) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ): <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 72,916 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容
		需用費	891 千円	施設修繕費
		役務費	107 千円	傷害保険料・損害保険料
		委託料	71,518 千円	指定管理料
		使用料及び賃借料	142 千円	土地賃借料
		負担金補助及び交付金	258 千円	南側斜面地の防護対策工事施工に関する設計費負担金
財源内訳	H30年度 支出済額 72,916 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額(千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	72,916 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源		

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.75
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.75

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
コスト 支出	行政費用 A	64,708	66,441	65,420	84,770			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	58,298	60,907	60,900	80,143			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	53,524	53,673	53,650	72,916			
	償還金利息	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	4,774	7,234	7,250	7,227			
	職員数(常勤 非常勤)	0.50 0.00	0.75 0.00	0.75 0.00	0.75 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	4,520	6,826	6,914	6,875			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	254	408	336	352			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	6,410	5,534	4,520	4,627			
	①減価償却費	4,708	4,708	4,708	4,708			
	②退職給与引当金繰入額	1,702	826	-188	-81			
	③不納欠損額	0	0	0	0			
④その他 ( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)	153.84	420,619	156.29	425,105	153.03	427,501	197.45	429,317

成果実績	指標名	観光客数(江の島サムエル・コッキング苑 入苑者数)	目標	580	単位	585	単位	590	単位	595	単位
					千人			千人			千人
	実績	799	単位	862	単位	842	単位	878	単位		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		80,986.23	77,077.73	77,695.96	96,548.97					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	施設が老朽化する一方, 適切な維持管理が求められることから, 費用対効果の高い事業実施が求められる。
(2) (1)解決のための今後の取組	市を代表する観光施設として, 観光客の満足度の向上と事業費の抑制の両面について検討する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	本市の観光資源を適切に維持管理することにより, 観光振興が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	<b>現状維持</b>
	市の代表的な観光施設を適切に維持管理するとともに, 指定管理者と緊密に連携し, 観光客の満足度向上に繋がる取組を行う。また, 使用料の在り方については, 指定管理者との協議・調整を進め, 適正な額について整理検討する必要がある。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
69	江の島サムエル・コッキング苑の維持管理に関すること	有	有	3	1
72	江の島サムエル・コッキング苑の運営(指定管理)に関すること	有	有	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	片瀬東浜駐車場運営事業費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	004	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 27 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	片瀬東浜駐車場の運営により、観光客の利便性向上と各種観光事業の円滑な運営を図る。						
対象	4. その他	観光客 (片瀬東浜駐車場利用者)				23,070 台	
根拠法令等	条例 (市)	藤沢市片瀬東浜駐車場条例					
事業実施内容	指定管理者である (公社) 藤沢市観光協会とともに、片瀬東浜駐車場の維持管理運営を行う。						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (指定管理者 : 公益社団法人藤沢市観光協会)						
	(委託等内容 : 片瀬東浜駐車場維持管理)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : )						
<input type="checkbox"/> その他 ( )							

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 17,529 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		需用費	675 千円	施設修繕費
		役務費	6 千円	傷害保険料・損害保険料
		委託料	16,848 千円	指定管理料
財源内訳	H30年度 支出済額 17,529 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料	17,529 千円	
		国庫支出金		
		県支出金		
		その他 ( )		
		一般財源		

### 3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成30年度
正規職員等	0.50
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.50

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

コスト 支出	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度			
	行政費用 A	21,913	22,079	22,231	22,294			
	(1)現金を伴う支出 (千円)	21,062	21,244	22,357	22,348			
	事業費(支出済額-②報酬合計)	18,675	16,421	17,523	17,529			
	償還金利子	0	0	0	0			
	人件費合計(①+②+③)	2,387	4,823	4,834	4,819			
	職員数(常勤 非常勤)	0.25 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00			
	参考:正規職員平均給与	9,040	9,101	9,219	9,167			
	①職員給与合計(常勤)	2,260	4,551	4,610	4,584			
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0			
	③退職金相当額	127	272	224	235			
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	851	835	-126	-54			
	①減価償却費	0	0	0	0			
	②退職給与引当金繰入額	851	835	-126	-54			
③不納欠損額	0	0	0	0				
④その他( )	0	0	0	0				
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)	52.10	420,619	51.94	425,105	52.00	427,501	51.93	429,317

成果実績	指標名	観光客数(片瀬東浜駐車場利用台数)	目標	19,080	単位	19,360	単位	19,660	単位	19,940	単位
					台		台		台		台
	実績	22,558	単位	24,246	単位	24,260	単位	23,070	単位		
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由										
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		971.41	910.62	916.36	966.36					

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	施設が老朽化する一方, 適切な維持管理が求められることから, 費用対効果の高い事業実施が求められる。
(2) (1)解決のための今後の取組	観光客の満足度の向上と事業費の抑制の両面について検討する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	本市の観光資源を適切に維持管理することにより, 観光振興が図られた。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	本市を訪れる観光客への利便性向上のため, 今後も継続して事業を実施し, 施設を適切に維持管理することにより, 観光振興を図る。ただし, 駐車場利用料金の在り方については整理検討する必要がある。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
70	片瀬東浜駐車場の維持管理に関すること	有	有	3	1
73	片瀬東浜駐車場(指定管理)の運営に関すること	有	有	3	1

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	観光施設台風被害復旧等対応費										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	005	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 29 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	平成29年10月に襲来した台風第21号により、本市の重要な観光施設である藤沢市江の島岩屋が被害を受けたため、営業の再開に向けた復旧工事等を行う。						
対象	4. その他 観光客(江の島岩屋入洞者)			約	362	千人	
根拠法令等							
事業実施内容	台風被害を受けた藤沢市江の島岩屋及び周辺施設について、本復旧工事を実施。(一部令和元年度へ明許繰越)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先: 株式会社堀本工務店, 増子電気工事株式会社, 鎌田工業合資会社) (委託等内容: 江の島岩屋施設復旧工事(第1工区), 江の島岩屋電気設備復旧工事ほか) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( ): <input type="checkbox"/> その他 ( ):						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 113,419 千円	事業費節別内訳													
		費目	支出済額(千円)	主な事業内容											
		需用費	6,794 千円	江の島岩屋船着場通路橋本復旧修繕, 江の島稚児ヶ淵通路等復旧修繕											
		工事請負費	106,625 千円	江の島岩屋施設復旧工事(第1工区), 江の島岩屋電気設備復旧工事											
財源内訳	H30年度 支出済額 113,419 千円	事業費節別財源内訳			<b>3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)</b> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>正規職員等</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>再任用短時・任期付短時職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>非常勤職員</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0.15</td> </tr> </table> ※正規職員等=正規職員+再任用職員(短時以外)+任期付職員(短時以外)+常勤嘱託職員		平成30年度	正規職員等	0.15	再任用短時・任期付短時職員	0.00	非常勤職員	0.00	合計	0.15
			平成30年度												
		正規職員等	0.15												
		再任用短時・任期付短時職員	0.00												
		非常勤職員	0.00												
		合計	0.15												
費目	支出済額(千円)														
分担金・負担金															
使用料・手数料															
国庫支出金															
県支出金															
その他(観光施設整備債)	67,500 千円														
一般財源	45,919 千円														

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
コスト 支出	行政費用 A			40,531	114,536
	(1)現金を伴う支出(千円)			39,751	114,864
	事業費(支出済額-②報酬合計)			37,334	113,419
	償還金利息			0	0
	人件費合計(①+②+③)			2,417	1,445
	職員数(常勤 非常勤)			0.25   0.00	0.15   0.00
	参考:正規職員平均給与			9,219	9,167
	①職員給与合計(常勤)			2,305	1,375
	②報酬合計(非常勤)			0	0
	③退職金相当額			112	70
	(2)現金を伴わない支出(千円)			780	-328
	①減価償却費			0	0
	②退職給与引当金繰入額			780	-328
	③不納欠損額			0	0
	④その他( )			0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)				94.81   427,501	266.79   429,317

成果実績	指標名	観光客数(江の島岩屋 入洞者数)	目標			238	単位 千人	242	単位 千人
			実績			267	単位 千人	362	単位 千人
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由								
実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)				-	-	151,801.50		316,397.79	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員，再任用職員，任期付職員，嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し，事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	本施設の立地状況から，台風時期を避けながら施工する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	関係部署と調整を図り，適切な復旧工事の手法を検討する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	庁内での連携体制により，平成30年4月に営業を再開し，観光客の利便性の向上を図るとともに，江の島の回遊性が回復し，経済の回復にも寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	関係部署と調整を図り，適切な復旧工事の手法を検討する。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
74	台風や地震等，自然災害の被害復旧に関する事	有	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------

# 藤沢市 令和元年度事務事業評価シート簡易版(平成30年度分)

事務事業名	観光施設台風被害復旧等対応費(繰越分)										担当課	部課名	経済部観光シティプロモーション課			
予算科目コード	会計	01	款	08	項	02	目	04	細目	005	説明	01	課等の長	板垣 朋彦	電話	3421

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 29 年度	終了(予定)年度	平成 30 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	平成29年10月に襲来した台風第21号により、本市の重要な観光施設である藤沢市江の島岩屋が被害を受けたため、営業の再開に向けた施設復旧工事に係る実施設計委託及び復旧工事を行う。						
対象	4. その他	観光客 (江の島岩屋入洞者)	約	362	千人		
根拠法令等							
事業実施内容	台風被害を受けた藤沢市江の島岩屋及び周辺施設について、施設復旧工事に係る実施設計委託及び復旧工事を行った。(平成29年度からの明許繰越)						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 ( 委託先 : 八千代エンジニアリング株式会社, 株式会社堀本工務店 ) ( 委託等内容 : 江の島岩屋施設復旧工事に係る実施設計委託, 江の島岩屋施設復旧工事 (その2) ) <input type="checkbox"/> 補助金・負担金 ( : ) <input type="checkbox"/> その他 ( )						

## 2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	H30年度 支出済額 36,555 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
		委託料	9,342 千円	江の島岩屋施設復旧工事に係る実施設計委託
		工事請負費	27,213 千円	江の島岩屋施設復旧工事(その2)
財源内訳	H30年度 支出済額 36,555 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金		
		使用料・手数料		
		国庫支出金		
		県支出金		
その他 ( )				
一般財源	36,555 千円			

3. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)	
	平成30年度
正規職員等	0.10
再任用短時・任期付短時職員	0.00
非常勤職員	0.00
合計	0.10

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)  
＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

## 4. コスト分析

年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
コスト 支出	行政費用 A			0	37,820	
	(1)現金を伴う支出 (千円)			0	37,519	
	事業費(支出済額-②報酬合計)				36,555	
	償還金利息				0	
	人件費合計(①+②+③)			0	964	
	職員数(常勤 非常勤)				0.10  0.00	
	参考:正規職員平均給与			9,219	9,167	
	①職員給与合計(常勤)				917	
	②報酬合計(非常勤)				0	
	③退職金相当額				47	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)			0	301	
	①減価償却費				0	
	②退職給与引当金繰入額				301	
	③不納欠損額				0	
	④その他 ( )				0	
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)			0.00	427,501	88.09	429,317

成果実績	指標名	観光客数(江の島岩屋 入洞者数)	目標			-	単位	242	単位
			実績			-	単位	362	単位
	数値で表せない効果又は上記指標名の設定ができない理由								
	実績1単位あたりの総費用 A/実績 (円)		-	-	-	-	-	104,475.14	

※1 職員数・・・[常勤]一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・[常勤]任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

## 5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	本施設の立地状況から, 台風時期を避けながら施工する必要がある。
(2) (1)解決のための今後の取組	関係部署と調整を図り, 適切な復旧工事の手法を検討する。

## 6. 事務事業の評価と今後の方針

評価	庁内での連携体制により, 平成30年4月に営業を再開し, 観光客の利便性の向上を図るとともに, 江の島の回遊性が回復し, 経済の回復にも寄与した。	
今後の方針	事業の方向性	<b>休止・廃止・完了</b>
	本事業は, 平成29年10月に発生した台風被害の対応を図るため, 仮復旧工事及び本復旧工事に向けた設計委託の繰越分であり, 平成30年度をもって当初目的を果たしたことから完了する。今後, 本復旧等の対応については「観光施設台風被害復旧等対応費」において進める。	

## 7. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託(一部含む)の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
74	台風や地震等, 自然災害の被害復旧に関すること	有	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 8. 部長確認欄

部名	経済部	氏名	和田 章義	確認日	2019/8/9
----	-----	----	-------	-----	----------